

目 黒 区  
薬 剤 師 会

# 防 災 通 信



第 1 号  
2024.6.14 発行

## 災害図上訓練(DIG)に参加してみませんか？

DIGとはDiaster-災害-Imagination-想像力-Game-ゲーム-であり、街を探索し防災意識を掘り起こす訓練です。目黒区の地図と向き合い、地域の弱点や被災状況をイメージすることは防災力を高める第一歩となるでしょう。

この図上訓練を会員薬局の皆さまにも体験していただきたく、下記の日程で参加募集致します。以下のQRコードよりご応募お待ちしております。

日 時 令和6年7月20日 (土)

16:00-17:00

会 場 目黒区薬剤師会事務局

応募期間 令和6年6月14日 (金) ~

※先着12名となりますので、ご了承ください。

なお定員締切の場合、今後も順次開催予定です。



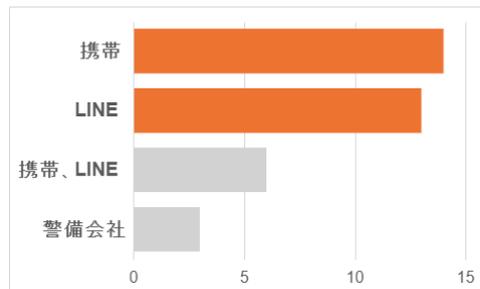
## 第1回防災アンケート結果報告

2月に実施致しました「防災アンケート」へのご協力ありがとうございます。

39施設の会員薬局の皆様からご回答をいただき、

「発災時の職員の安否確認方法」について

以下の集計結果が得られております。



## 目黒区の初動医療体制について知りたい

### 緊急医療救護所の設置予定場所(区内9病院)

病院名	所在地
東邦大学医療センター大橋病院	大橋2-22-36
三宿病院	上目黒5-33-12
東京共済病院	中目黒2-3-8
厚生中央病院	三田1-11-7
目黒病院	中央町2-12-6
碑文谷病院	南2-9-7
日扇会第一病院	中根2-10-20
本田病院	柿の木坂1-30-5
国立病院機構東京医療センター	東が丘2-5-1

※発災直後からおおむね72時間まで設置

首都圏直下型地震が発生した場合、令和4年5月に東京都が公表した被害想定では、目黒区内で最大2064人の負傷者が想定されています。

多数の負傷者等を迅速に対応するために、区災害医療コーディネーター(医師会長および保健所長)の判断のもと、区内病院9か所の病院前もしくは敷地内に緊急医療救護所を開設されます。救護所開設の期間は、発災72時間までが目安です。救護所では、医師によるトリアージが実施され、軽症者は救護所内で治療投薬が行われます。軽症者に対する調剤、服薬指導、医薬品の仕分け管理が、派遣された薬剤師の主な任務となります。

←目黒区区報(令和5年12月1日)より

## 首都圏直下型地震が発生!! まず薬局薬剤師がすることは?

災害発生後、被災地の薬局には被災者に対する組織的な医薬品の供給、医療救護所での支援活動など多くの役割が求められます。また発災後に薬剤師会から、薬局の被災状況、救護所への薬剤師派遣などについての確認を、メールなどの通信手段を用いて実施しますので、速やかに情報提供をお願い致します。

令和6年の診療報酬改定における連携強化加算の施設基準においても、災害時における薬局体制や対応についての手順書の作成や保険薬剤師に対する研修・訓練の実施が盛り込まれています。

「薬剤師のための防災対策マニュアル」が令和6年3月に改訂公開されています。薬局内の防災対策、手順書作成の参考にしてみてください。

「薬剤師のための防災対策マニュアル」改訂版↑

